

## 7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。教育センター規程より、教育センター長、部門組織、担当業務は次の通り。

教育センター長 中村 真理子 教授

部門組織

- (1) 医師キャリアサポート部門
  - ① 医学教育研究室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育IR部門
- (6) アドミッション部門

教育センター業務

- (1) 医学科教育の支援業務に関すること
- (2) 看護学科教育の支援業務に関すること
- (3) 看護専門学校教育の支援業務に関すること
- (4) 大学院教育の支援業務に関すること
- (5) 卒後教育の支援業務に関すること
- (6) 地域医療者教育に関すること
- (7) 教育関連補助金獲得および教育補助金事業の管理・運営に関すること
- (8) シミュレーション教育施設の管理運営に関すること
- (9) 教育情報基盤支援業務（e-learningを含む）に関すること
- (10) 学校法人主催公開講座の企画、調整、実施支援に関すること
- (11) 教育IRに関すること
- (12) その他、本学教育に関すること

事業報告

### 1) 教育の公的補助金にかかる事業

- (1) 2021年度ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業

令和3年度補正予算文部科学省ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業を申請し、選定された。

事業名：東京慈恵会医科大学ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業

事業推進責任者：教育センター・センター長 中村 真理子 教授

補助期間：2022年3月～2023年3月31日

- (2) 平成30年度課題解決型高度医療人材養成プログラム「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成」

筑波大学を代表校とし茨城県立医療大学・東京慈恵会医科大学が連携大学として、事業「精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は繁田雅弘教授（精神医学講座）が担当する。事業期間は2019年度～2023年度。

- (3) 2022年度ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

宮崎大学を代表として東京慈恵会医科大学が連携大学で、事業「地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら拡がる医師養成モデル事業～KANEHIROプログラム：病

気を診ずして病人を診よ～」が選定された。事業責任者として武田 聡教授（救急医学講座）が担当する。事業期間は2022年度～2028年度。

(4) 2022年度医学部等教育・働き方改革支援事業

令和4年度文部科学省（6）医学部等教育・働き方改革支援事業間メニュー2「医師の働き方改革」を申請し、選定された。

事業名：医師の働き方改革

事業推進責任者：東京慈恵会医科大学附属病院・副院長 中野 匡 教授

補助期間：2023年3月～2024年3月31日

(5) 経常費補助金 教育の質の客観的指標

(6) 経常費補助金私立大学改革総合支援事業タイプ1

改革総合支援事業タイプ1「Society5.0の実用に向けた特色ある教育の展開」の調査票の提出を行い、不選定となった。

(7) 経常費補助金一般補助「情報の公表」

教育情報の公表について、関係部署からデータ提供の協力を得て、令和2年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。

(8) 経常費補助金特別補助「ICT活用推進事業」

令和4年度文部科学省ICT活用推進事業「感染症対策に資する無線LAN整備」を申請し、選定された。事業期間は令和4年度の単年度。

2) 教育IR部門

医学教育の内部質保証を図るために設置されている教育プログラム評価委員会と協働し、プログラム評価のために必要なデータの収集・分析・提供を行った。学修成果のデータベース構築のほかに、入学時、卒業時、卒業生アンケート等を実施し、担当の委員会へフィードバックを提供した。また、医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価の受審に伴い、自己点検評価書の根拠資料収集、作成を行った。

3) 内部質保証の推進

学校法人慈恵大学内部質保証推進委員会（委員長：柳澤浩之学長補佐）を主管し、機関認証評価のために、大学基準協会へ点検・評価報告書を作成し、2023年3月31日に提出した。2023年9月～10月に実地調査が行なわれる予定である。

4) 地域医療支援教育プログラム

地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島 雅人教授（臨床疫学研究部・教育センター）を責任者として実施した。

2020年度生・受講生5名、2021年度生・受講11名、2022年度生・受講14名を受講生として、講義（eラーニング）を6コース、ワークショップを6回実施した。

5) 看護学教育プログラム

看護キャリアサポート部門の奈良京子研修担当と臨床4機関の研修担当者の協力のもと、以下の教育プログラムを実施した。

(1) エデュケーションナース研修

開催期間：2022年7月22日（金）～11月15日（火）の内20日間

受講者数：41名

(2) 基礎教育と臨床の交流研修

開催期間：2023年1月22日（日）

受講者数：17名

(3) E L N E C - J コアカリキュラム看護師教育プログラム

開催期間：2023年3月4日（土）～3月5日（日）

受講者数：27名

(4) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル

開催期間：2023年10月7日（金）～12月23日（金）の内20日間

受講者数：31名（学内12名、学外19名）

6) シミュレーション教育支援

シミュレーション教育施設委員会（委員長：中村真理子教授）が中心となり、シミュレータ機器の選定、購入などの機器整備を行い各機関のシミュレーション教育施設の充実を図るとともに、シミュレーション教育施設の管理運営を行った。

各機関の利用状況は、西新橋校672件、国領校102件、葛飾医療センター646件、柏病院79件、合計1,499件の利用であった。

7) ICT活用教育支援

(1) eラーニング

卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間1,187コースであった。内訳は次の通り。

・医学科学生	332コース
・看護学科学生	210コース
・看護専門学校学生	106コース
・慈恵第三看護専門学校学生	105コース
・慈恵柏看護専門学校	100コース
・大学院医学系専攻	19コース
・大学院看護学専攻	63コース
・卒後教育	252コース

(2) クリッカーを活用した授業等の支援

クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生の授業で計7回利用された。

(3) eポートフォリオ

・医学科4～6年生の全科臨床実習、診療参加型臨床実習においてeポートフォリオの実施を支援し、全科臨床実習修了時には学生が経験した症候・症例数を各学生並びに教員にフィードバックした。

・看護学科全学年にeポートフォリオの実施を支援した。

(4) エルゼビアeReview eラーニング

医学科学生用のエルゼビアeReview eラーニングを全学年で利用できるようにした。

(5) SeDLES

医学科4～5年生の全科臨床実習期間中に、SeDLESを活用した学生の自己学習を支援した。

8) テレビ会議システムの利用支援

テレビ会議システム運営委員会（委員長：草刈洋一郎教授）が主体となり、大学の教育・研究や大学運営をテーマとした4機関の会議について、円滑に実施することを目的に次の活動を行った。

(1) 4機関テレビ会議システム

4機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間7回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は4病院合同セーフティーマネジメント、法人SD実行委員会主催研修会などであった。

(2) Zoomミーティング

Zoomミーティングの運用管理・支援を行った。年間のユーザ登録数は233件・年間利用数は11,159回であった。内訳は次の通り。

・教育・研究（学生授業等）	2,590回
・大学（委員会・会議等）	2,096回
・附属病院（委員会・会議等）	2,851回
・法人（委員会・会議等）	423回
・各部署の会議等	3,199回

## 9) 市民ボランティア「あけぼの会」の活動

平成24年度より、建学の精神に基づく医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業（演習、実習）で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としているが、教学に関する会議への参加、医学教育に対するフィードバックなど、一般市民の参加する医学教育としてその活動範囲を広めている。令和4年3月31日現在の会員数は29名で、2022年度の活動は次の通りである。

### (1) 例会

- 第1回例会 2022年3月26日（土）10：00～11：30
- 第2回例会 2022年5月14日（土）10：00～11：30
- 第3回例会 2022年6月18日（土）10：00～11：30
- 第4回例会 2022年11月12日（土）10：00～11：30
- 第5回例会 2023年3月25日（土）10：00～11：30

### (2) 授業への参加

- 医療総論演習 医学科1・2年 2022年5月24日（火）13：00～16：10
- 医学総論Ⅱ演習 医学科 2年 2022年6月28日（火）10：40～12：10
- 医学総論Ⅲ演習 医学科 3年 2022年11月24日（木）13：40～14：50
- 医学総論Ⅳ演習 医学科 4年 2022年4月8日（金）13：40～16：10

### (3) 教学に関する会議への出席

- 学生と教学委員の検討会議
- 教育プログラム評価委員会
- カリキュラム特別検討会

## 10) 公開講座

### (1) 大学主催公開講座

2022年度の公開講座は新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催が縮小となっている。NHKと共催しているみんなの健康教室は6回開催した。

## 11) アウトリーチ活動

アウトリーチ活動推進委員会（委員長：南沢享教授）が主体となり、大学の社会貢献の一環として、本学の教育研究成果について中小高校への還元することを目的に次の活動を行った。

### (1) 高校生先端医療体験実習

NPO法人 Touch the Future と共催の「高校生先端医療体験実習」を8月22日～26日まで腎臓・高血圧内科の横尾 隆教授が行った。

### (2) 医療オンラインセミナー

読売新聞社主催「高校生向け医療オンラインセミナー」を10月22日に耳鼻咽喉・頭頸部外科の小島博己教授が行った。

### (3) 地域との連携

- ・5月18日 熊本学園大学附属中学校の総合的な学習「深学科プログラム」第3学年キャリアインタビューにZoomで出席した。
- ・9月22日 都立六本木中学校の先生方を対象に心肺蘇生AED講習会を救急医学講座の武田 聡教授が行った
- ・10月21日 神奈川県立厚木高等学校にて輸血・細胞治療部 佐藤智彦准教授が「知の探究講座」の講演をした。
- ・11月9日～11日 桐朋高校、桐朋女子高校の進路企画として、解剖学講座 岡部正隆教授が本学研究室を訪問する医学研究体験を実施した。
- ・12月23日 山形県教育庁からの依頼で特任教授の小林英司先生が「第4回医進塾」にて講演をした。

(4) 高大接続

芝学園高校：7月8日 高大連携に関する協定書の調印式を開催した。

7月20日 芝漬けゼミ（薬理学講座 川村将仁准教授・西晴久講師）を実施した。

7月21日 芝漬けゼミ（救急医学講座 武田聡教授）を実施した。

3月29日 芝漬けゼミ（薬理学講座 志牟田美佐講師、石川太郎准教授）

3月30日 芝漬けゼミ（内科学講座（腫瘍・血液内科）矢野真吾教授、勝部敦史助教）

豊島岡女子学園高校：7月6日 高大連携に関する協定書の調印式を開催した。

2月8日 Academic Day Final に南沢享教授が出席した。